

東郷村報

第1號
昭和25年5月10日
發行所 東郷村役場
印刷所 安藤印刷

創刊のことば

東郷村長 小野弘

終戦を機として幾多の大改革が実施されたが民主政治の基盤である地方自治法が制定され今回更にシャウプ博士の報告による税制の改革がなされ名實共地方自治が確立されることになった事は誠に喜びに堪えない。然し現下の町村に於てはトツジラインの實施に伴つて金詰りの上に曰く食糧の問題六三制による中學校の建築課税の問題と相繼ぐ重圧に正に破滅の危機に瀕して

發刊を祝して

東郷村會議長 橋口和吉

村政の進展は村當局者が眞剣に批判検討をなし諸事誠實を以つて事を處し議會を審議決定し之に村民の協亦私事私情をさしはさまず調を得てはじめて村政の適近頃讀んだものうちで或る支那の史實を書いたものを感じ深く讀んだのであるそれは「帝堯が天下を治めたこと五十年であつた。堯は天下が治まつて居るのか自分も居ないのか、人民が自分を元首に戴くことを希望して居るのか、希望して居ないのか分らなかつた。左右に侍つて居る臣下に尋ねて見たが侍臣は誰も知らなかつた。そこで外朝の臣下に尋ねたが外朝の者も知らなかつた。今度は民間の者に尋ねたが、民間の者も知らなかつた。そこで堯は微賤な人の衣服を着て、繁華な街に出掛つて往つて様子を探つた。童子が歌をうたつて居るのを聞くと、其の文句に「我等

平凡な政治

アイ・エヌ生

と家を出て耕作し日が暮ると家へ帰る。井戸を掘ると水が湧き出る。田を耕しては水を飲み、田を耕しては水を飲む。自分自身の生活を営んで居るの最近特に各方面で言はれる敗戦國民に負つた責任の重さを言ふ。最

供米完遂に感謝決議

東郷村會議長 小野弘

東郷村會議は三月二十二日開會傍頭、二十四年産米の供出完了に對する村民の熱意に應じ、次の感謝決議をなす。村農業調整委員、部落駐在所長、生産組合長(農民代表)に對し右感謝決議文を贈り感謝の意を表す。

感謝決議

本村における昭和二十四年産米の供出は再三襲來した風水害と近年にない病虫害の大発生により極めて困難な實情にあつたにも拘らずよくその割當量を完遂せられたことは一に農民各位の供米に對する眞剣な御協力と關係各位の絶大な御努力の賜であつて、この努力が國民の食糧を確保し延びて日本再建は勿論本村自治の進展に貢献することを

發刊を祝す

東郷小學校長 都甲鶴男

信じ、茲に本村議會は會議の劈頭滿場一致を以て各位の御勞苦と強い責任感に對し衷心より敬意と感謝の意を表す。
昭和五年三月三日
東白杵郡東郷村議會 (議會書記)

村報に寄す

坪谷中學校長 伊達重市

村報の發刊、素晴らしいこととす。反響も大きいこととす。先づ第一に取り上げられべきことは、村政が一つの基盤を得たこととす。市町村制から地方自治法へ、これら法的、或は慣習によつての基本線はハッキリして

議會生活を顧て

東郷村會議副議長 新名成

敗戦後新憲法の制定に伴い地方自治も亦主権在民の地方政治が曾つての官製的地方自治の形態を一變してどこまでも民主主義的な制期的改革に依る民意行政が運行されるべく發足し町村自治も此の線に沿ひ運営の樞機も新しく民主尊重の基に議會が重要ポストを把握することとなつた。不肖村民の代議者として過去をふり返り見る時に公僕として爲すことなく、只黙々として議會に席を列ねたことを洵に申譯ないと思つて居る。然し制度の改変に従つて各般の施策も所謂朝令暮改的であつたので議會も村も容

發刊を祝して

東郷中學校長 塩月儀市

民主主義の政治は先づ知るべきこと、知らせることから始まらなければならず、村報の發行は最もよいことではないでしょうか。



草

「百姓は、とてもそらはんはとれない」なるほど、天候相手の仕事だから早魃にあつたり嵐の日もある。幸にも村の大事業であつた學制改革に據る六三制中學校舎の建築(年次計畫三年)は村民と共に苦しみながら本年度で完成する見込みがたつたことは歴史的な事業である文に印象も深く喜びも大きい。反面福瀨分校が種々の條件で廢止に立ち至つたことは返す返すも遺憾であつたが、條件緩和の時機到来せば議會は頭切の議決方針は不變であるので、此の地点元村民の御了解を願ひ村民大方の御同情を望んで已まない。次に昨年度に亘る台風被害は一萬住民の生活に多大の障害を來し、是が復旧は務中の緊急事であつた。村及び議會は其のな被害調査を致し

本村の林業について

本村は全面の七割は山林原野で占められ、其の六割は潤葉樹林で、それは主として薪炭原林である。従つて木炭、椎茸、薪の生産が主で、木材の生産は極めて少ない。以上の様な山林の現況よりして本村の林業は左の如くありたいと思つて居る。

1 林道網完備の急務

戦時下の非常伐採及び戦後の需要増に依り用材、薪炭材平地林は殆ど伐採せられ、僅に残された奥地林が現在の開発対象林分である。従つて林産物の生産向上は望めない。現在、河原、平田の二線を開設中であるが、更に林道十ヶ年計画に豫定された路線の急速な開設に依り生産費の軽減と生産能率の向上を計らねばならぬ。

2 植林の促進と伐採の調整

前述の様な過伐が行はれ、加うるに本村の地理的關係(富高驛に近い)が更に拍車をかけ、遂に未熟林分迄がしかも生長量をはるかに上廻つて伐採されて居る。一方植林は之と並行せず林相は荒廢の一途を辿りつゝある。現状を以て推移するならば、森林資源の枯渇を招来し、経済的にも治山治水にも憂慮すべき現況にある。

本村の木炭生産割當量は縣内でも首位にあるが、最近の實績が示す通り、低下の一途を辿りつゝあることなから、原木の不足(奥地に偏在)が大なる原因の一つと思はれる。以上の様な現況に在るから一日も早く全林の緑化を急ぎ即ち森林資源の保護と増養を計り、林産物の生産の増強に努めねばならぬ。其の一方法として左のことを提唱したい。

一、荒廢林地に植林
従來長期に亘る早伐の害として、已に林地は荒廢し山の腹の七八合目以上又は林内にも那様に「シダ」蕨類等が繁茂し、甚だしい所では全々荒蕪と化して居る林地も少なくない。斯うした林地にはクマギ、ナラ、松等を又谷筋適潤地には、杉等を即ち適地適木の植林をして林地の利用と資源の培養を計らねばならぬ。

二、薪炭林の刷新
薪炭林の刷新は、理由の一つに、苗木代金の問題があるが、將來は必ず苗木は自家養成とせねばならぬ。少くとも購入代の半額以下で養成出来るからである。又植林に對し申請すれば縣から森林資源造成事業負擔金を交付規定に基き、負擔金が交付される。尚本村でも二十五年度に於て植林、育苗事業に對し獎勵金を交付することに於て居る。この獎勵金交付申請の手續については其他の林業關係獎勵金交付申請手續と共に部落駐在所長を経て通知したい。優良樹種との混淆林とする。

薪炭林は皆伐せず、椎茸原木、松、栗、石櫛、櫻、樅、檜、榎其他天然に生育する樹種で良材となる見込の優良木は殘存させることにしたい。従來は「クリ」の多くある山は雑木山として顧みられなかつたものであるが、現在日向栗として都會人に喜ばれるものは九〇%迄、天然に自生する山栗であることを思ふ時、輕視すべき問題でない。尚林内に点在する。前期伐採の際、伐残した石櫛十數本が一枚薪手の薪炭原木代よりはるかに高價で販賣された實例も少なくない。クマギ、ナラ其他の優良樹種は言う迄もない。

三、幼令林の保護
薪炭林の理論的に又經濟的に最も有利な伐採期は樹令

十五乃至二十年で木炭の歩止りも伐跡地の萌芽もよろしい。
早伐の害は言う迄もないが、炭炭量少なく品質も悪いB級の如き優良炭材樹種は漸次減少する。
C 萌芽力減退する。
D 「シダ」類が繁茂し、林相が破れ、土地が荒廢する。
R 擇伐作業の獎勵
直徑一寸未満の矮小木は製炭の用をなさないので、現在一律に皆伐されつゝある。之は漸次擇伐作業法に改め度い。擇伐作業は理想的に實行する時は、相當面倒もあり、自家山の場合は兎も角、他人に賣却の場合の如き、實際問題として困難と思はれる。實行の伴はないことを獎勵しても無駄であるから、むづかしい理想論をやめて、手初めに可能な經一寸以下の矮小木は絕對に伐採せぬことにしたい。そして漸次理想的の擇伐法を採用するようになれば、土地の乾燥を緩和し、林地の荒廢を防ぎ、次期の伐期を早める等、其の効果は少くない。

以上取り止め、述べたが、要するに本村經濟の大半が、林産物代金に依つて支えられて居ることを思ふとき、山林經營法の改善と合理化を計ることの重要且つ緊急なることを痛感する。と共に、林業者各位の御理解と御協力を願うものである。林務係 小林松男



滞納整理斷片

「今日は何日ですか?」
野良仕事か、山仕事にでも行つて居るのか、何の用もない薄暗い納戸から、眼ばかり光らせた汚い黒猫が「ニャーン」と叫ぶ。又は人恋しと代りか、足音もなく近づいて来た。
「お前さん、話にならんサテ……」ヨシ此處は後廻り「ビヤリ」戸を締めたら、件の黒猫、今度は床下に潜り込んで行つた。
「今日は……」精が出ますネ
「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」

「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」

「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」

「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」

「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」
「今日は何日ですか?」

